

樹林地の保全と活用（保存樹木）に ついて

資料2-1

保存樹木指定一覧

指定番号	樹種名	所在地	指定年月日	樹木調査結果	備考
第1号	コウヤマキ	八戸市内丸一丁目 ロータリー	平成21年2月19日	A'	
第2-1号	ヒマラヤスギ (南側)	八戸市内丸一丁目 ロータリー	平成21年2月19日	C	
第2-2号	ヒマラヤスギ (西側)	八戸市内丸一丁目 ロータリー	平成21年2月19日	C	
第2-3号	ヒマラヤスギ (北側)	八戸市内丸一丁目 ロータリー	平成21年2月19日	C	
第3号	イチョウ	八戸市大字根城字根城49	平成21年2月19日	B	
第4号	エドヒガン	八戸市長者一丁目6-10	平成21年2月19日	A'	
第5号	イチョウ	八戸市廿六日町26-1	平成21年2月19日	B	
第6号	イチョウ	八戸市田向三丁目1-3	平成21年2月19日	S	H30.4.1 市へ管理引継
第7-1号	エゾエノキ	八戸市大字新井田字横町6-1	平成21年2月19日		H28.12.6 指定解除
第7-2号	ケンポナシ	八戸市大字新井田字横町6-1	平成21年2月19日		H28.12.6 指定解除
第8号	ヤマボウシ	八戸市南郷大字市野沢字馬場瀬1-7	平成21年2月19日	B	
第9号	オニグルミ	八戸市大字是川字土橋12-1	平成21年2月19日		H29.3.27 指定解除
第10号	イチイ	八戸市長者一丁目7-57 南宗寺	平成22年3月30日	B	
第11号	イチョウ	八戸市長者一丁目6-59 大慈寺	平成22年3月30日	C	
第12-1号	スギ	八戸市大字八幡字八幡丁3 櫛引八幡宮	平成22年3月30日		H25.12.12 指定解除
第12-2号	スギ	八戸市大字八幡字八幡丁3 櫛引八幡宮	平成22年3月30日	B	
第12-3号	ケヤキ	八戸市大字八幡字八幡丁3 櫛引八幡宮	平成22年3月30日	A'	
第13号	キタコブシ	八戸市大字松館字牛ヶ沢3-4	平成22年3月30日	B	
第14号	カツラ	八戸市大字新井田字前田9-1	平成22年3月30日	C	
第15号	イヌザクラ	八戸市大字中居林字雷	平成22年3月30日	A	
第16号	モクゲンジ	八戸市類家二丁目2-45 廣澤寺	平成22年3月30日	B	
第17号	クロマツ	八戸市大字鮫町字浜道通9	平成22年3月30日	A'	
第18号	カツラ	八戸市南郷区大字島守字下巻	平成22年3月30日	C	
第19号	クロマツ	八戸市内丸一丁目1-1 八戸市庁別館前	平成23年3月25日	C	
第20号	ニシキギ	八戸市内丸三丁目3-6 南部会館	平成23年3月25日	B	
第21号	クロマツ	八戸市大字本徒士町5-4 更上閣	平成23年3月25日	C	
第22号	シダレヤナギ	八戸市長者四丁目4-1 八戸高等学校	平成23年3月25日	B	
第23号	プラタナス	八戸市大字新井田字館平20 新井田小学校	平成23年3月25日	C	
第24号	イチョウ	八戸市大字松館字岡田5-1	平成23年3月25日	B	
第25号	ヒイラギ	八戸市類家二丁目2-45 廣澤寺	平成23年3月25日	A'	
第26-1号	ブナ	八戸市大字市川町字赤坂下41-2	平成23年3月25日		R3.9.21 指定解除
第26-2号	ブナ	八戸市大字市川町字赤坂下41-2	平成23年3月25日		H30.12.27 指定解除
第27号	ズミ	八戸市内丸一丁目1-1 ロータリー	平成24年3月19日	A'	
第28号	アメリカキササゲ	八戸市内丸三丁目3-6 南部会館	平成24年3月19日	A'	
第29号	ユリノキ	八戸市類家一丁目4-47 八戸東高等学校	平成24年3月19日	C	
第30号	キハダ	八戸市大字十日市字上樋田	平成24年3月19日		R5.1.6 指定解除
第31号	オオバボダイジュ	八戸市大字鮫町字狐平	平成24年3月19日	A'	
第32号	ハクショウ	八戸市類家一丁目4-47 八戸東高等学校	平成24年3月19日	C	
第33号	ヤマボウシ	八戸市大字松館字籠田38 月山神社	平成27年3月30日	C	
第34号	マンサク	八戸市長者一丁目6-10 長者山新羅神社	平成27年3月30日	B	

指定本数 40本
解除本数 7本
現存本数 33本

※危険度

S	A	A'	B	C
高←				→低
←				→
注視			様子見	

毘沙門のイチョウについて

- 1 概要 指定番号 第6号
 指定年月日 平成21年2月19日
 所在地 八戸市田向三丁目1-3（毘沙門公園）

平成30年2月9日、八戸市都市計画事業田向土地区画整理事業の換地処分公告がなされたことから、毘沙門公園の公園施設として八戸市へ管理引継された。

このことに伴い、八戸市田向土地区画整理組合より毘沙門イチョウの養生管理費用として寄附金を受納し、以降、市で養生管理を実施することとなり、現在に至る。

2 経過

平成17年度	現在地へ移植
平成28年度 (ナラタケ菌 対策1年目)	樹勢衰退の根本的な原因はナラタケ菌による腐朽であることが判明。 ・ナラタケ病の治療及び土壌改良等の養生管理を実施。 ・樹木医による公開樹木診断(4/22)
平成29年度 (ナラタケ菌 対策2年目)	・ナラタケ病の治療及び土壌改良等の養生管理を実施。 ・ワイヤー支柱補強作業を実施(8本増、計12本) ・樹木医による公開樹木診断(9/15)
平成30年度 (ナラタケ菌 対策3年目)	前年度と同様にナラタケ病の治療及び土壌改良等の養生管理を実施。 ・ナラタケ菌糸除去及び土壌殺菌 ・不定根発根促進誘導工 ・灌水施工 ・樹木医による公開樹木診断(9/27)
令和元年度 ～ 令和3年度	前年度と同様にナラタケ病の治療及び土壌改良等の養生管理を実施。 ・ナラタケ病菌糸拡大防止殺菌工 ・樹勢回復及び土壌改良工 ・灌水施工 ・樹木医による公開樹木診断
令和4年度 (ナラタケ菌 対策7年目)	前年度と同様にナラタケ病の治療及び土壌改良等の養生管理を実施。 ・ナラタケ病菌糸拡大防止殺菌工 ・樹勢回復及び土壌改良工 ・灌水施工 ・樹木医による公開樹木診断(9/15)
令和5年度 (ナラタケ菌 対策8年目)	前年度と同様にナラタケ病の治療及び土壌改良等の養生管理を実施。 ・ナラタケ病菌糸拡大防止殺菌工 ・樹勢回復及び土壌改良工 ・灌水施工 ・樹木医による公開樹木診断(10/18)

3 今年度の状況

今年度も殺菌剤と土壌消毒剤を用いた治療を実施した。令和5年10月18日に実施した公開樹木診断では、新たな根が張り、枝先の葉や銀杏の数の増加が見られた。これまで一進一退の攻防が続いていたが、回復の兆しが見え始めた状況である。

4 今後の養生管理について

令和6年度は、引き続きナラタケ病の治療及び土壌改良等の養生管理を実施予定。令和7年度以降については、予算との兼ね合いから、しばらく治療を休止し、様子を見る方向としたい。

5 経過写真

